第6章　小地域ネットワーク活動

１　小地域ネットワーク活動を必要とする背景

①　急速な高齢化

ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、寝たきり等、要介護高齢者がますます増加することが予測されます。

②　核家族化の進行と家族機能の変化

都市化傾向に伴い、家族が離ればなれになってきました。昔の大家族のように、家族で分担し支え合うことは難しく、介護機能は著しく低下しています。

③　公助の限界

在宅で老人や障がい者自身、介護する家族が負担を軽減して暮らすことが望まれます。日常生活の介助や看護など、公的サービスの提供ばかりではなく、日常的に工夫した制度利用が求められます。

④　地域の結びつき・人間関係の希薄化

地域の結びつき、人間関係の希薄化、昔はどこの地域でもあった助け合いの精神が、生活様式などの変化によって失われ、隣人同士が疎遠と無関心の中で生活することが多くなってきています。

２　小地域ネットワーク活動の役割

小地域ネットワーク活動とは、町内会等の小地域において要援助者が生活を継続できるように、近隣住民が中心となり、福祉・保健・医療関係者の協力を得てすすめる個別支援ネットワークで、見守り、訪問活動、相談活動、生活支援など多様な活動を展開します。

こうした要援助者への個別支援は、ニーズ発見や他のサービス・制度へのつなぎの機能を果たしており、同時に地域の協働活動の蓄積となり「地域の福祉力」として結実しています。

３　社会福祉協議会と小地域ネットワークの連携・協働事業

・見守り・声かけ活動
・戸別訪問活動
・交流行事
・家事援助活動
・サロン活動の推進
・住民座談会の開催
・小地域ネットワーク活動推進会議の開催

４　重点課題

・住民の主体性による自助の強化
・自助と公助の連携による「共助＝地域福祉」の推進
・小地域ネットワークにおける基盤整備
・福祉サービスの情報提供の強化
・地域支援調整会議による地域との連携

５　小地域ネットワーク活動の取り組み状況と展望

平成１０年度
↓
平成１４年度

ネットワークの設立
北落合・落合・金山
下金山
幾寅栄町・朝日町・岐阜・西町
幾寅仲町・千木町
幾寅東町・住吉町

平成１８年度
↓
平成２０年度

モデル地区の設置
地域における見守り活動の強化

平成２１年度

地区座談会の拡大
小地域ネットワークごとに地区座談会を開催し、ニーズ調査、情報交換を実施

平成２２年度

ふれあい・いきいきサロン事業
地域の憩いの場として、ふれあい・いきいきサロンが町内４か所に設立

○　地区座談会
○　寄ってたかって幸せ講座
○　たすけあいチームづくり事業
○　地域福祉啓発活動の推進
○　たすけあいチーム養成事業
○　小地域ネットワーク活動推進会議の開催

平成２３年度～

地域包括ケア事業
・地域コーディネート推進事業
　①　地域座談会の開催
　②　総合相談窓口の強化及びワンストップ化
・地域活動ネットワーク構築事業
　①　地域支援調整会議の開催
　②　「くらしの通報」ネットワーク事業
・地域力向上事業
　①　寄ってたかって幸せ講座
　②　サロン「拠り所」事業

（1）北落合ふれあいネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	北落合	たすけあい会議開催数	２回
人口	108 人	世帯数	37 世帯
高齢者数	27 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	１世帯
高齢化率	25.0%	サロン	現在検討中
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　福祉副部長（２名） 福祉委員（6 名）　民生委員（1 名）　計１０名		

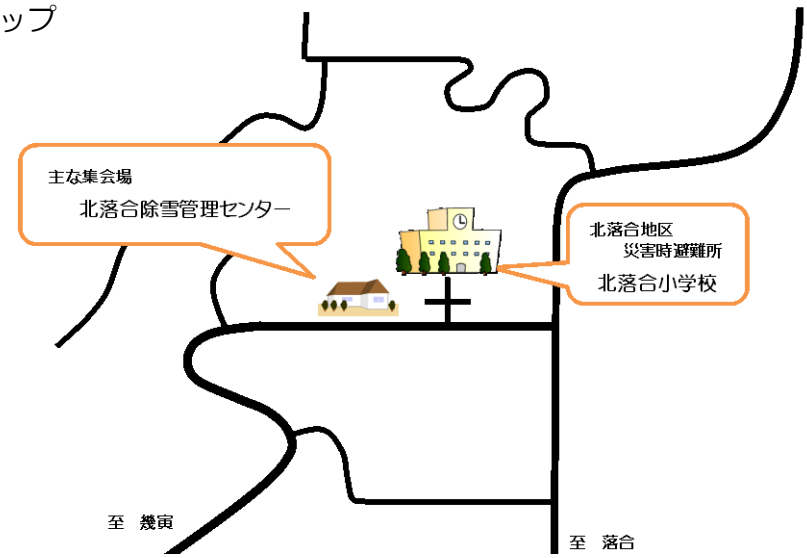
主な活動内容
・声かけ運動

地区の状況

北落合地区は、広大な原生林の広がる森林地域とシーソラプチ川の清流があり、冷涼で、昼夜の温度差の大きい気象条件を活かし高原畑作農業の拠点として、馬鈴薯やにんじん、そばなどを生産しています。大自然の南富良野町の中でもプラネタリウムのような星空は圧巻です。

農家地区ということで、高齢者の多くが家族と同居しており、近隣の関係も何世代も前から近所づきあいが続いている地区です。

北落合マップ



（2）落合連合町内会福祉部

地区・ネットワークの概要

地区名	落合	たすけあい会議開催数	６回
人口	218 人	世帯数	121 世帯
高齢者数	71 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	15 世帯
高齢化率	32.3%	サロン	現在検討中
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　事務局（1 名） 部員（4 名）　民生委員（1 名）　計７名		

主な活動内容

・声かけ運動

・落合八幡祭典参加

・ふれあい会食会

地区の状況

落合地区は、空知川の最上流域にあり、北海道を代表する自然体験観光の拠点として、空知川やシーソラプチ川でのカヌーやラフティング、冬の犬ぞりやカーリングなどが盛んな地区です。

高齢化が徐々に進んでいますが、落合連合町内会を中心に地域で見守り活動等を積極的に行っています。また、アウトドア業を中心とした若者が移住しており、地域の活動を盛り上げています。

落合マップ

（3）栄町福祉ネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅栄町	たすけあい会議開催数	3 回
人口	386 人	世帯数	216 世帯
高齢者数	86 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	17 世帯
高齢化率	22.3%	サロン	未定
ネットワーク構成メンバー	部長（1 名）　副部長（1 名）　理事（9 名）　計 11 名		

主な活動内容

・ひとり暮らし世帯の声かけ運動
・栄町福祉ネットワーク交流会
・役員会の開催

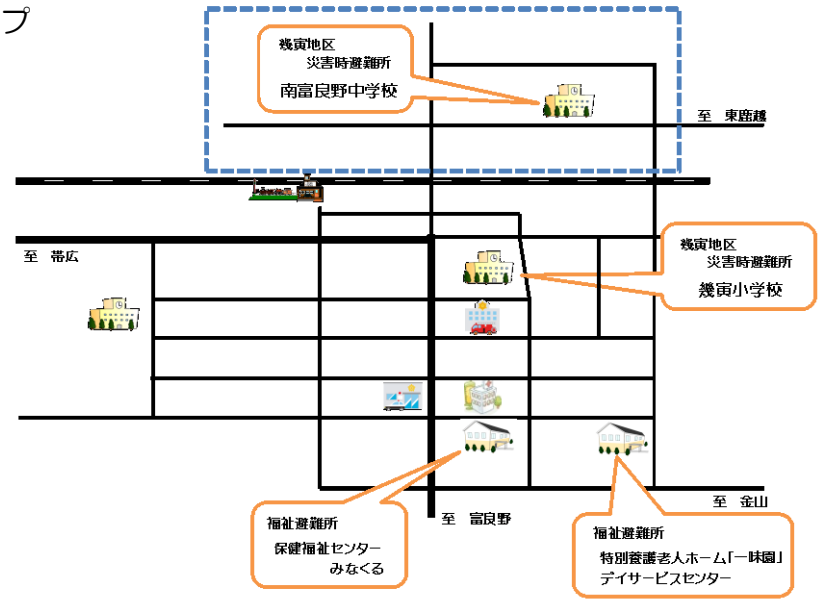
地区の状況

幾寅栄町は、幾寅地区で最も大きな規模の地区となっています。

近年、公営住宅やアパートが建てられたことから、若い世代が多く住んでいる地区です。

栄町ネットワークを中心に声かけ運動や交流会を実施し、近隣の見守り活動を行っている地区です。

幾寅マップ



（4）西町ふれあいネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅西町	たすけあい会議開催数	３回
人口	291 人	世帯数	125 世帯
高齢者数	79 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	27 世帯
高齢化率	27.1％	サロン	ふれあい・いきいきサロン「西町」
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　ボランティア（14 名） 町内会役員（5 名）　計 19 名		

主な活動内容

・声かけ運動　・福祉カードの作成
・ふれあい花見会　・夏休みお楽しみ会
・除雪作業援助　・町内会員位置図の配布
・避難訓練　・ふれあい・いきいきサロン

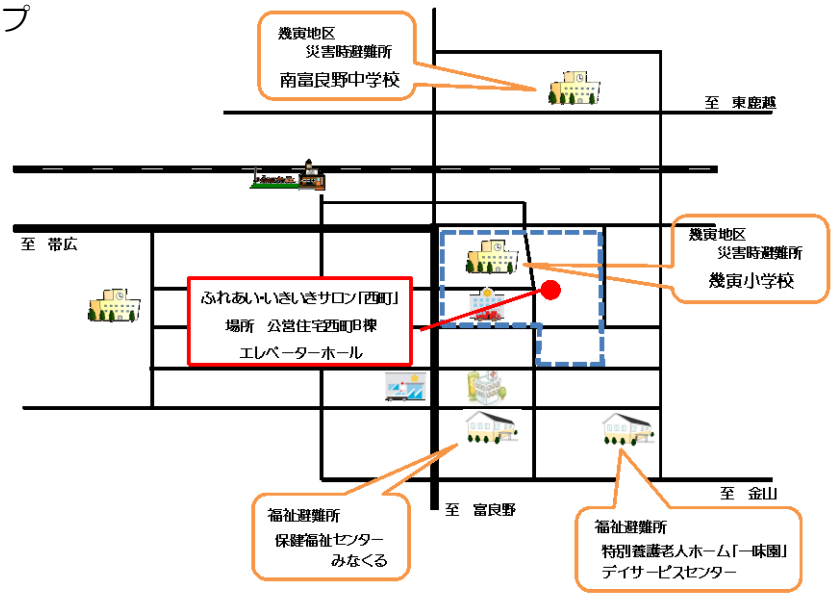
地区の状況

幾寅西町は中心部に位置し、幾寅地区でひとり暮らし高齢者と夫婦暮らし高齢者世帯が最も多く居住している地区です。

この地区の公営住宅は１～２階に高齢者世帯が住み、３階に若い世帯が住むことで、公営住宅全体で見守り活動を行っている地区です。

この公営住宅のエレベーターホールにサロンスペースがあり、日常生活や福祉サービスに関する意見交換等を行っています。

幾寅マップ



（5）岐阜町ふれあいネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅岐阜	たすけあい会議開催数	３回
人口	204 人	世帯数	112 世帯
高齢者数	45 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	11 世帯
高齢化率	22.1％	サロン	ふれあいサロン「ぎふ」
ネットワーク構成メンバー	部長（1 名）　副部長（1 名） 理事（3 名）　協力員（5 名）　計 10 名		

主な活動内容

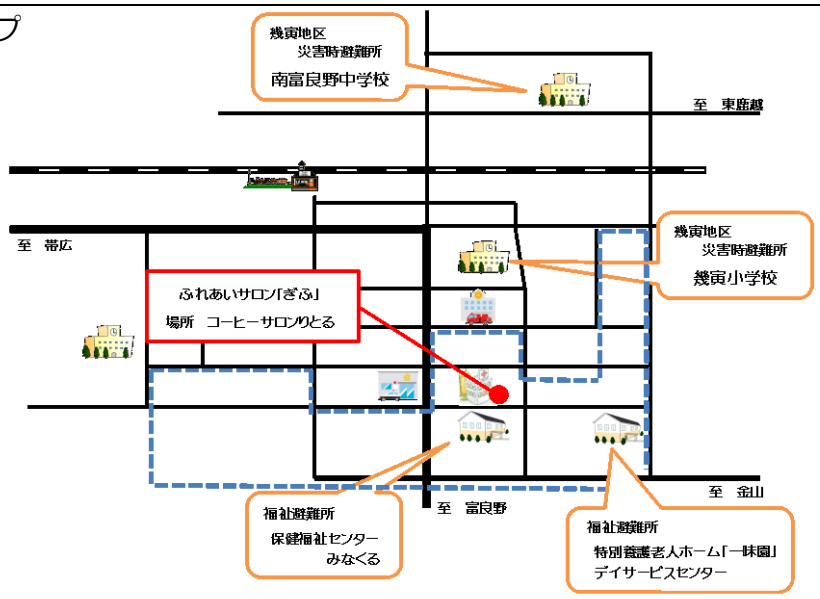
・福祉活動の基盤づくり
・ひとり暮らし等高齢者の定期的な見守りと声かけ活動
・レクリエーション等の各種行事における交流
・ふれあいサロン

地区の状況

幾寅岐阜は、南富良野からまつ園、南富良野こざくら園、特別養護老人ホーム一味園等の社会福祉施設や町保健福祉課、社会福祉協議会の事務所がある保健福祉センターみなくる等、町内の福祉関係施設が集中している地区です。

南富良野大乗会の家族会が運営するコーヒーショップリトルにサロン「ぎふ」がオープンし、住民の憩いの場所となっています。日常的な交流から、誰もが安心して暮らせる地域づくりへと福祉の関心を高めることができている地区です。

幾寅マップ



（6）朝日町福祉ネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅朝日町	たすけあい会議開催数	３回
人口	115 人	世帯数	62 世帯
高齢者数	51 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	11 世帯
高齢化率	44.3%	サロン	ふれあい・いきいきサロン「朝日」
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名） 会計書記（1 名） 福祉協力員（7 名）	副部長（1 名） 監査（2 名） ボランティア（3 名）　計 15 名	

主な活動内容

・たすけあいチームづくりの組織化
・高齢者への声かけと生活用品の配布
・レクリエーション等各種行事における交流の場の設置
・ふれあい・いきいきサロン

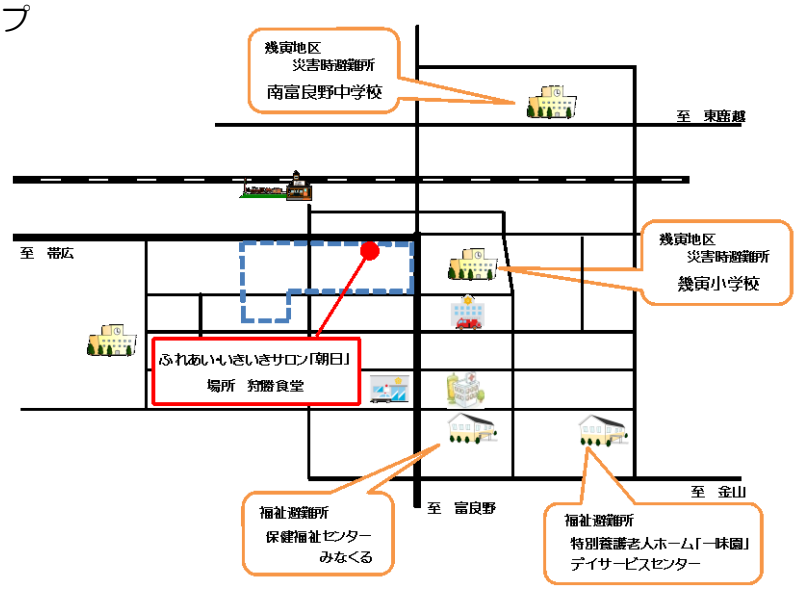
地区の状況

幾寅朝日町は、多くの住民が持ち家に住んでいる地区です。

平成２２年度に開設したサロン「朝日」に多くの方が集まり、お茶のみやおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしています。

サロン「朝日」は、朝日町内会の憩いの場所として活躍している他、サロン参加への声かけをすることで、声かけ・見守り活動にも大きな役割を果たしています。

幾寅マップ



（7）幾寅仲町町内会福祉部

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅仲町	たすけあい会議開催数	3 回
人口	69 人	世帯数	29 世帯
高齢者数	37 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	2 世帯
高齢化率	53.6%	サロン	現在検討中
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　副部長（2 名） 協力員（15 名）　計 18 名		

主な活動内容

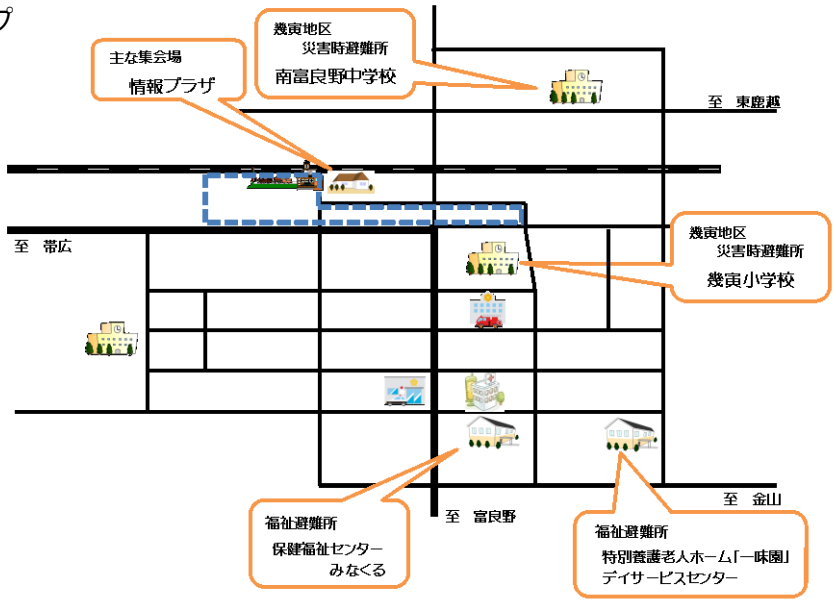
・福祉カードの点検と補正
・声かけ運動の実施
・ふれあい花見会の開催
・仲町町内会福祉部手打ちそば試食会

地区の状況

映画「鉄道員」のロケセットがある地区で、毎年多くの観光客がこの地を訪れます。また、幾寅地区の飲食店が軒を連ねる地区です。

幾寅地区で最も高齢化率が高い地区ですが、町内会を中心に近隣の声かけ活動により安心感をつくり、イベントの開催によりお互いの状況確認を行っている地区です。

幾寅マップ



（8）千木ひまわり福祉部会

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅千木町	たすけあい会議開催数	4 回
人口	111 人	世帯数	56 世帯
高齢者数	38 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	3 世帯
高齢化率	34.2%	サロン	現在検討中
ネットワーク構成メンバー	部長（1 名）　副部長（2 名） 事務局（1 名）　会計監査（2 名） 協力員（7 名）　計 13 名		

主な活動内容

・情報交換会
・状況確認訪問
・定期ふれあい会食会
・懇話会

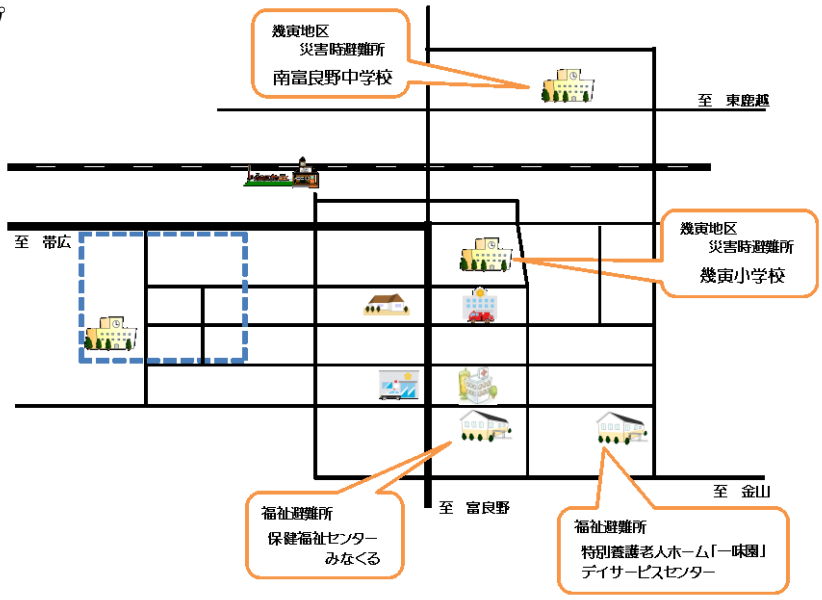
地区の状況

幾寅千木町は、ほとんどが公営住宅や教員住宅等で構成されている地区です。

定期的な状況確認訪問や懇話会を行うことで、住民の連帯感を養うとともに問題点を知ることができています。

また、交流を深めていくことで、今後の助け合い活動につなげることができている地区です。

幾寅マップ



（9）小地域ふれあいネットワーク東町町内会福祉部

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅東町	たすけあい会議開催数	３回
人口	348 人	世帯数	108 世帯
高齢者数	54 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	12 世帯
高齢化率	15.5%	サロン	ふれあいサロン「いこい」
ネットワーク構成メンバー	会長（1 名）　福祉部長（1 名） 役員（4 名）　事務局（1 名） 推進員（9 名）　民生委員・児童委員（2 名）　計 18 名		

主な活動内容

・声かけ運動　・福祉カードの整理・保管
・ふれあい会食会　・東町ふれあい観劇会
・ふれあいサロン

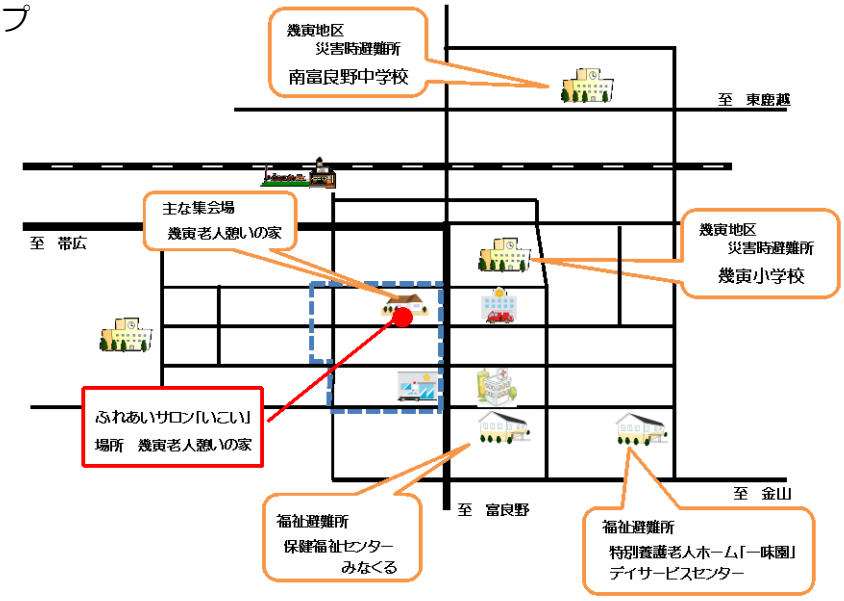
地区の状況

幾寅東町は、古くなった公営住宅の高齢者が他地区へ転居したことで、幾寅地区で最も高齢化率の低い地区となっています。

役場関係の住宅が多くあることから、ＯＢや婦人パワーを活かしたボランティア活動が熱心に行われている地区です。

サロンでは、高齢者の他、子育て中の親子も対象としていて、子育て支援にも力を入れている地区です。

幾寅マップ



（１０）住吉町内福祉ネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	幾寅住吉町	たすけあい会議開催数	２回
人口	43 人	世帯数	21 世帯
高齢者数	16 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	１世帯
高齢化率	37.2%	サロン	現在検討中
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　副部長（1 名） 推進員（2名）　ボランティア（12 名） 民生委員（1 名）　計 17 名		

主な活動内容

・声かけ運動

・除雪等の活動

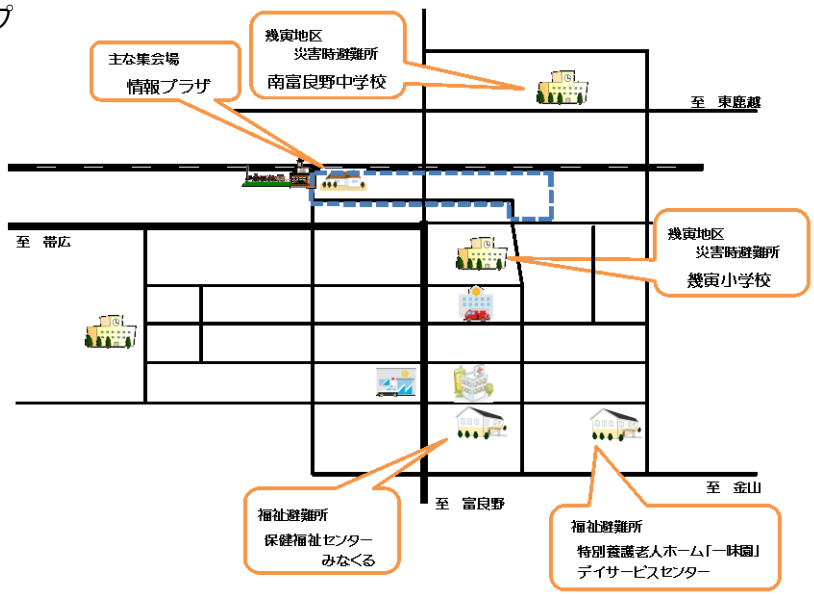
・歳末たすけあい活動

地区の状況

幾寅住吉町は、幾寅地区の商店が軒を連ねる地区です。

幾寅地区で最も小さいネットワークですが、回覧板を回したときや、近隣の訪問と声かけ等を行うことで、生活状況等を把握しています。また、高齢者宅の除雪等行うなど隣近所で助け合いを行っている地区です。

幾寅マップ



（１１）金山福祉ネットワーク

地区・ネットワークの概要

地区名	金山	たすけあい会議開催数	３回
人口	315 人	世帯数	192 世帯
高齢者数	154 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	30 世帯
高齢化率	48.9%	サロン	未定
ネットワーク構成メンバー	福祉部長（1 名）　ボランティア（3 名） 民生委員（1 名）　計５名		

主な活動内容

・福祉カードの作成

・お年寄りと子どもの交流会

地区の状況

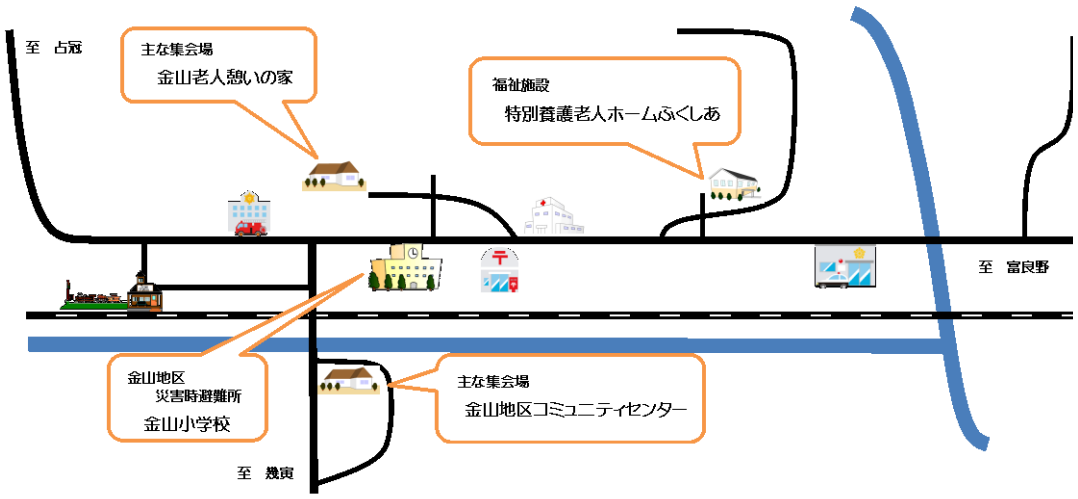
金山地区は、本町発祥の地で、本町を二分するかなやま湖に建てられた金山ダムがある地区です。

本町で最も高齢化率が高く、住民の約２人に１人が６５歳以上となっています。

元気な高齢者を中心に手芸や裁縫等のグループ活動が盛んに行われています。

特別養護老人ホーム「ふくしあ」において施設サービスや金山・下金山地区のデイサービスを提供しています。

金山マップ

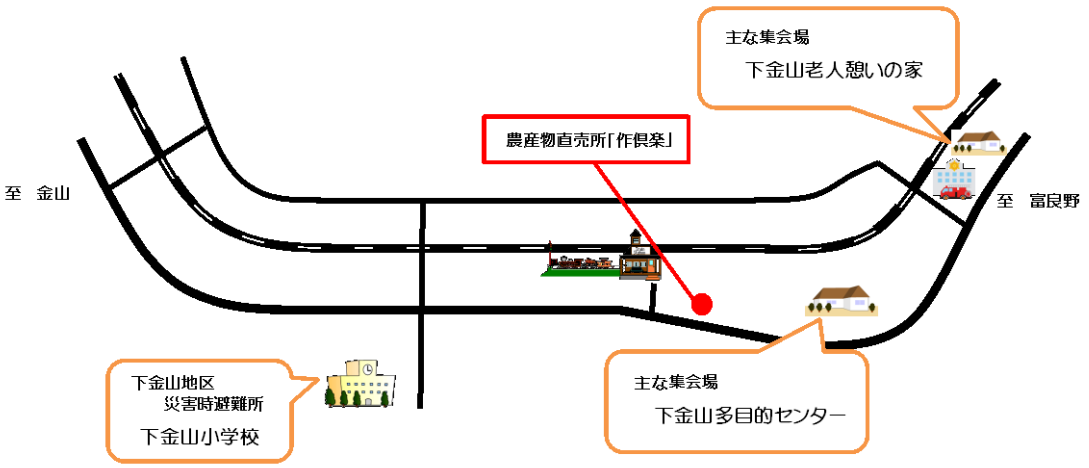


（１２）下金山自治連合会

地区・ネットワークの概要

地区名	下金山	たすけあい会議開催数	6～8 回
人口	215 人	世帯数	110 世帯
高齢者数	81 人	ひとり暮らし高齢者世帯数	15 世帯
高齢化率	37.2%	サロン	平成 23 年 4 月開設
ネットワーク構成メンバー	委員長（1 名）　推進員（6 名） ボランティア（6 名）　計 13 名		

主な活動内容
・声かけ運動
・ふれあい会食会
・長寿者を祝う

地区の状況
　下金山地区は、もち米やメロン等を生産している地区で、町内で２番目に高齢化率の高い地区となっています。
　下金山地区のほぼ中央に農産物直売所「作倶楽」があり、毎年多くの住民がここで買い物をしています。平成 23 年度からは、サロンとして住民が集まれる場所を作り憩いの場所として大きな役割を果たしていきます。

下金山マップ